

池田町の未来を若者がつむぎだす!! ～池田つむぐプロジェクト～



9月定例会

平成29年度決算審査	P2～5
補正予算の目玉ほか	P6～7
町政をたず（一般質問）	P11～17
議会活動レポート	P18～19
町民のみなさんに聞く	P20

歳入総額74億6583万円、歳出総額72億7041万円となり、
なった。実質公債費比率は

9月定例会の概要

9月定例会は、9月6日から21日まで開かれた。30年度補正予算の承認1件、29年度決算の認定7件、30年度の補正予算など議案9件、人事案件の諮問1件、同意1件を審議し議決した。意見書1件を国、県の関係機関へ提出した。

主 な 事 業

地域交流センター等
建設事業
2億7869万円

建設用地の取得・土地購入費・工作物補償経費 など



建設がすすむ地域交流センターを視察

弓道場移転建設事業
5100万円

町道251号線の道路改良に伴い、池田町弓道場を移転新築した。



移転新築された弓道場

多子世帯の保育料を
減免
244万円

第3子以降の3歳以上の児童を対象に無料、3歳未満児は月額上限6000円を減免した。



どろんこ遊びに夢中!!

評価します!!
町の財産を
見直します

町有不動産売却
5100万円

町で所有の不動産、旧池田交番跡地ほかを公募で売却した。



旧池田交番跡地

平成29年度 決算

一般会計・特別会計・水道事業会計は
全会計の黒字額は1億9542万円と
8.8%になり、昨年より2.2%上がった。

町のお金は
このように使われた!!

平成29年度の

移住定住政策

1080万円

移住定住推進事業として、体験ツアーを実施する。
また、空き家バンクの構築を行った。



移住体験ツアー

まちなかの 賑わい拠点施設 整備事業

9752万円

地方創生拠点整備交付金事業。
拠点施設の設計監理業務や取壊しや
建設工事を行った。



秋の装いのシェアスペース・にぎわい

まちなか 第2駐車場用地購入

3515万円

旧わでまちホール及び周辺土地を購入し、まちなかの駐車場の利便性を図った。



整備された駐車場

海外販路開拓等 推進事業

496万円

池田町海外販路等推進協議会を設立し、農産物輸出の市場分析を行いマレーシアにおいて池田町フェアを開催した。安曇野市、池田町、松川村の3つの蔵元が連携し共通の海外ラベル、パッケージを製作した。



マレーシアでの商品展示

花とハーブの里 再ブランド化事業

681万円

花とハーブで町を彩る修景促進として植栽イベントや薬香ハーブの普及事業の開催、ハーバルヘルスケアトレーナーの育成を行った。



トレーナー育成講座

平成29年度 一般会計決算



決

算

審

査

質疑内容

企画政策課

問 移住定住事業が始まったが、池田町というキーワードだけでは人は来ない。町の良さが検索した時にヒットしないと意味がないがどうか。

答 東京・名古屋に行きプレゼンテーションをすることで、池田町の存在を知っていただく。口コミからも広め、さらに情報、発信も検討したい。

総務課

問 新人の職員研修を3カ年行っているが、予算から仕事の内容まで、すべて把握できるように上司が一人ひとりにしっかり指導してほしいが。

住民課

問 町営バス巡回線のフリー乗降ができることを時刻表に明記できないか。また、日曜日に明科線と松川線を走らせてほしいという要望がある。検討して欲しい。

答 常日頃から組織体制をしっかりと整えていき、普段から目を配り注意していくよう改めて管理していきたい。

要望 気象観測システムのポテカネットの運用について、気温や雨、ゲリラ豪雨など様々な状況がわかるので、スマホのアプリなどを町民に分かりやすく説明するよう、広報でお願いしたい。



ポテカネット(スマホから)

一口メモ 「ポテカ」とは、超高密度気象観測・情報提供サービスを言う。スマートフォンやパソコンから気象情報を取得することができる。



検討したい町営バスの運行

答 明記はあるが、時刻表自体が小さいので、お知らせできるように努めたい。日曜日運行は、運行会社へ状況を聞き、需要が多ければ検討し、今後の課題にしていきたい。

問 運行委託が北安観光タクシーに委託されているが、他の業者がやりたいという声があるかどうか。また業者選定はどのように決めているか。



地区のゴミ集積所

答 営業許可を受けた業者でないとできない路線もある。その他の路線は、縛りはないが、運転手もそれぞれ1人ずつ必要で他の業者がすぐ運営できる状況でない。

問 町内の人口、住宅の増減によってゴミ集積所のあり方を考えて欲しい。

答 今後、各自治会に説明し、集積所の統合など

投げかけ、見直しを検討したい。

問 ゴミ収集に関して、広津陸郷地区と町内のゴミカレンダーの2種類あるが、効率的に統一化できないか来年度に向けて工夫願いたい。

答 統一カレンダーは難しいが、じっくり検討する。

健康福祉課

問 子育て支援の相談 3080件あるが、どのような内容傾向か。

答 登校の渋り、反抗期の対応や年齢が上がっての相談など増えている。抑うつ状態であれば、医療につなげる対応をする。

問 児童虐待、DVなど件数は増えているか。

答 増減はみられない。

問 全国的にがんの増加がみられるが、補助金の問題や、がん対策の検診を住民にどう呼びかけていくのか。

答 補助金費用を出しながら、検診を受けていない人へのPRの仕方を考えていきたい。

問 二十歳の歯科検診について、成人式でふれることがなかったが、集团的に指導を扱うことは有効的と考えるか。

答 成人式の時では期間が短いので、30年度からは期間を長くするようやり方を変えて検診率を上げるようにしている。

問 小児生活習慣病予防事業の健康診断で、中学生になるほど対象者が増えているが、その内容について聞く。

答 中学生になると高血糖、高LDL傾向が増えてきている。ジュース、菓子、菓子パンなどの摂取によるのもひとつの要因ではないか。個々の状況に応じて再診を行い、校医と相談しながら保健指導を進めている。

産業振興課

問 農地の集約は進んでいるが、ほ場の管理がされていない所がある。しっかり指導してほしい。

答 受けた法人も、ほ場の条件が悪い場所や人出不足や高齢化などの課題がある。関係者に指導していく。

問 有害鳥獣被害で広津や鶴山山麓も将来は作物が作れなくなる。対策は。

答 相道寺から南は電気柵が整備されているが、電気柵のない中島、堀の内は猿が来ている。駆除



町民参加で植栽作業

しかない。ので県と相談する。

問 駆除は他町村と連携できないか。

答 駆除した場合、内臓を取り解体場まで運ぶ専用車購入を生坂、松川と模索している。

問 修景促進事業の町の方向は出ていないし、成果が見られないが。

答 修景提案は受けている。大町市境、安曇野市境、役場周辺は個人の所有地のため進まない。高瀬橋東のラベンダーガーデン、まかないシエアハーブガーデンはサポータークラブで活動している。

問 大北森林組合の返還金が少ないが、今後の見通しは。

答 実態は赤字で今後も厳しい。返還は、県、大口債権者、市町村の順で早期の返還を求めている。

建設水道課

問 下水道接続料金は、移住者に負担が大きすぎる。補助金の助成はできないか。

答 移住定住促進の観点から何らかの補助を検討する。

問 上下水道料が高いので移転を考える声を聴くが。

答 今年改定する予定なので十分検討していく。
問 大地震が起きているが、町の上下水道はどの

位の震度まで耐えられるか。また、町専用の給水車がないか。

答 耐震度は、はっきり言えないが、施設更新時に耐震化をしていきたい。給水対応に軽トラックに乗る350kgのタンクの購入を検討している。



軽トラック対応の給水タンクを整備

教育保育課

問 保小中一貫型教育の会議に現場の教師が入っていない。また、内容が解りづらい。急ぎすぎではないか。

答 一貫した教育を地域の協力で先行現場の先生方に押し付けるつもりはない。来年は地域の人や保護者も入って考えたい。

問 会染保育園園長は非正規職員と聞く。責任も重大である。正規にするべきではないのか。

答 保育士は全般に非正規職員が多い。今後、計画性を持って正規職員を登用する。



〈表紙〉池田町つむぐプロジェクトの活動



若者の視点から、池田町の課題を探り、解決につなげる。(街巡り・お寺、歴史を尋ねて…)

び学生宿舍取得及び改修経費・ ための土地購入費を可決!!

目玉事業 ピックアップ

**総合体育館駐車場
整備事業**
1747万円

現在の駐車場南側の土地を購入し、
車68台の駐車スペースを確保する。

【財源】

町一般財源 1747万円



総体駐車場整備予定地

**クラフトパーク
管理費**
270万円

遊具修理費

【財源】

町一般財源 270万円



クラフトパーク遊具

**後期高齢者
医療事業**
531万円

高齢者の保険制度の変更
で町負担が増加

【財源】

町一般財源 531万円



質

疑

総務課

問 消防団員が苦勞されていることに
対し、優遇制度を行っている市町村が
あるが、検討できないか。

答 団員の高齢化と確保という課題が
あり、検討していく。



企画政策課

問 専門学校開設について、保護者として心配だとい
う声もある。また、通訳が必要ではないか。

答 全て学校法人側で通訳を連れ、医者にかかる場合も
学校法人の対応である。町の誘致活動は、メリットがあ
り、軌道に乗せることが最重要だと思う。

生涯学習課

問 図書館の移動経費が高額になると思う。ボランティ
アを募れば愛着がわき、経費節減になるのでは。

答 前向きに検討したい。

産業振興課

問 広津の山桜の入り口に看板が必要
と考えるが。

答 シーズン時期に看板を設置する。

問 足湯の看板が解りづらいが。

答 足湯の看板の内容を変更し新たな
看板を設置したい。



広津の山桜の入口

専門学校開校に伴う校舎改修及 総合体育館駐車場拡張の



平成30年度一般会計補正予算(第6号)で決まった事業はなに!?

専門学校開設に伴う
校舎改修・学生宿舎
土地建物取得及び改修費
5160万円

旧安曇養護学校職員用宿舎取得及び改修、
校舎(福祉会館、教育会館)の改修経費

【財源】

町一般財源 5160万円



購入予定の旧安曇養護学校職員寮

多目的研修集会施設
管理事業
439万円

シルバー人材センターの移転時
工事請負費、機械器具購入費

【財源】

町一般財源 439万円



シルバー人材センター移転

常任委員会

総務福祉委員会

○議案第53号 財産の減額貸付について

問 専門学校への賃料の返済について、株式会社MRSが保証人になると聞いているが、連帯保証人もつけておくべきではないか。

答 保証人として組まれる前に、理事長などとも

責任をとっていただけるのではないかと。連帯保証人をつけるということであれば、契約内容に盛り込んで行く事は十分可能と思う。

問 修繕について、予想されるものについては、修繕費の中に見込んで、今から払ってもらうようにしたほうが良いのでは。

答 話し合いをもち、結果的に家賃と一緒の分割で合意に達した。

問 20年の間には、建物の傷みが発生してくるが、その対応はどのように考えているか。

答 基本構造に関しては、折半、あるいは家主負担ということになると思う。

審議結果 賛成多数で採択

振興文教委員会

○私立高校に対する公費助成をお願いする陳情について

意見 この陳情は毎年提出されているが、親の負担を考えると採択すべきである。

審議結果 全員賛成で採択

本 会 議 質 疑

【認定】29年度一般会計歳入歳出決算について

- 問** 電算委託料が年々増加している。削減の工夫をしているか。また、契約はどのようにしているか。
- 答** 当初予算で(株)電算からそれぞれの課で見積もりを出し、値引き交渉をし、他市町村と共同で委託もして経費を抑えている。

【議案】30年度一般会計補正予算(第6号)について

- 問** 地方債の臨時財政対策債を減額した理由は。
- 答** 交付税の額が確定し、それに伴う減額である。
- 問** 消火器46本を交換するが防災訓練に使用できないか。
- 答** 今後、担当部署と調整し訓練に提供したい。
- 問** 8地区の遊具を撤去する。遊具がなくなっていくが、どう考えているのか。
- 答** 9自治会から遊具の点検の要望があり、点検を業者に委託し、8か所の遊具を撤去する。今後優先順位、必要性を検討する。

【議案】財産の減額貸付について

- 問** 横浜市などは貸付基準があるが、町の基準はあるのか。
- 答** 基準はない。不動産鑑定額より低い貸付額で議案提出した。
- 問** 減額貸付の提案理由に地域活性化を図る目的とあるが、活性化の数値基準はあるのか。
- 答** 数値化は困難。専門学校開設で200人以上の学生が来る。消費拡大につながり、居住すれば交付税は一人15万円から19万円入るメリットがある。
- 問** 契約に支払いの保証人を明記するのか。
- 答** 賃貸借契約に保証人を設けて債務不履行にならないようにしている。支払いは、当該年度4月末までに一括して支払うことになっている。
- 問** 池田町は、減額貸付けしているの、生徒の4分の3は居住するよう文書で契約できないか。
- 答** 契約はできない。空き家など物件を探している。

本 会 議 討 論

〈平成29年度一般会計決算について〉

賛成討論

薄井孝彦 議員

7179万円の黒字となり健全な財政運営がなされたこと、ワイン用ブドウのは場整備、人間ドック補助金の改善、3歳以上第3子以降の保育料無料化などを評価する。

町民と町との「まちづくり懇談会」が実施され、延べ256名が参加した。更に、阿智村の事例のように、来年度予算の素案を町民に知らせ、意見を聴く会の開催なども研究されたい。また、地域交流センターは、塩尻市市民交流センターの取り組みなども研究され、「町民が集い、生き生きと活動する場」となるようにされたい。

〈平成30年度一般会計補正予算(第6号)について〉

反対討論

薄井孝彦 議員

専門学校については開設後20年間の長期にわたって安定的な経営が保証されるのか不透明である。5160万円の多額な町費を使うことは、公の会計として適当でないと考え反対する。

服部久子 議員

企画一般経費の5160万円は、専門学校開設のための福祉会館と教育会館の改修費や旧安曇養護学校寮を県から買い取り、町が学校に代わり立替える経費である。学校説明会のたびに学科の開設予定や授業料、募集定員も変わる。町の税金を使うことに不安感がぬぐえない。この議案に反対する。

〈財産の減額貸付けについて〉

賛成討論

矢口 稔 議員

今回の学校設立について、すでに議会として2つの施設を貸し出すことに決定している。また、国としても外国人の受け入れに対して政策を変更した。町は人口減少時代に入っている。専門学校の開設は、町にとってひとつの大きなチャンスでもある。みんなで創り上げていかなくてはならない。「学校が確実に20年間運営できるのか」、「外国人留学生に対する不安」などがあるのも確かである。

議会としては、別途要望書を提出し町民の不安を払拭できるよう、強く要請することとしている。以上のことから賛成すべきと考える。

矢口新平 議員

専門学校の誘致により、地域活性化を図る事を目的としている。特色ある町づくりの中で、専門学校を誘致したということは、他市町村と違った色々な展開がこれから始まると思う。町民職員一体となって温かい気持ちでこの学校を受け入れるべきである。

反対討論

服部久子 議員

昨年末より専門学校の説明が数回あった。その都度、説明内容が変わり、また、福祉会館、教育会館の改修費を町が立て替えることは疑問である。財産の減額貸付に反対する。

薄井孝彦 議員

議案48号の反対理由と同じく、学校開設後20年間の長期にわたって安定的な経営が保証されるのか不透明である。このような不透明なことに町の大切な財産を貸し出すことには賛成できないので反対する。



貸付け予定の教育会館



主な議案の説明と 審査結果

9月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	倉科栄司	横澤はま	矢口稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	櫻井康人	立野泰
承認	平成30年度池田町一般会計補正予算(第5号)について 災害復旧事業で250万円を追加した。	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額53億8489万9000円、歳出総額52億4233万4000円となり、差引額1億4256万5000円となった。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町工場誘致等特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額12億6270万2000円、歳出総額12億2017万4000円となり、差引額4252万8000円。1900万円を国保基金に積立てた。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定	平成29年度池田町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成29年度池田町下水道事業会計の剰余金処分及び決算の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	池田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	町道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	町道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町一般会計補正予算(第6号)について	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案	平成30年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	平成30年度池田町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	財産の減額貸付けについて 専門学校開設のため福祉会館を年72万円、教育会館を年54万円(平成31年3月から32年3月までは2階のみで年23万7000円)で減額貸付ける。	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
陳情	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	私立高校への公費助成に関する意見書について(県への要望)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	私立高校への公費助成に関する意見書について(国への要望)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 宮澤陽美氏(三丁目)に同意した。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意	池田町副町長の選任について 小田切隆氏(企画政策課長)に同意した。	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予算決算特別委員会審査意見書を町へ提出しました

平成29年度決算を審査し5項目の改善を求める

- 実質公債費比率は昨年より2.2%上昇し8.8%となった。今後更なる上昇が確実視される。長期的な財政状況の推移を立て慎重な行財政運営に努められたい。
- 昨年制定した職員行動計画に魂を吹き込むような職員の執務姿勢が望まれる。職員自らの執務姿勢を検証し、様々な職員研修に積極的に参加し自己研さんに努められたい。
- 旧県道線が供用開始となれば交通事情が激変することが確実視される。交通安全を最優先として関係機関や関係各課の十分な協議がなされるよう要望する。

- 池田町の水道料金が他市町村に比べ高いと言われている。この根拠となっている資本改良費用を将来負担ではなく、現役世代で負担している点について、折に触れ広報などで町民にわかりやすく周知されたい。
- 開校予定である専門学校については、町民・学校・行政・議会が一体となって取り組みが進められるよう強く要望する。



旧県道線

第6次総合計画に対して 町へ提言しました

池田町議会では第6次総合計画策定のための町民アンケート結果を検証し、町の取り組みの重要課題として、下記のとおり事業強化されるよう提言した。



- 1 若者定住、子育て支援のまちづくりの継続的な取り組みをされたい。
- 2 デマンドバスへの転換やタクシー券の交付など、公共交通のあり方を再検討され交通弱者の交通手段の確保をされたい。
- 3 地元農産物や加工品を活かした第6次産業化の体制を確立されたい。
- 4 地域交流センターの運営は町民の意見を十分に諮り、早期にその運営方針を示され、誰もが集う新たな教育芸術文化のにぎわいの源とされたい。

平成30年8月10日提出

8月臨時会の概要

8月10日臨時会を開会し議案1件を審議し可決

《30年度一般会計補正予算》

非常備消防費

150万円

財源：一般財源 150万円

県ポンプ操法大会出場補助金
結果：ポンプ車、小型ポンプ車
2年連続出場



大活躍の操法大会

9 議員が町政をたただす!

ここが聞きたい

9人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

池田町は1人60分の制限時間内で質問します。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

質問者	質問事項
倉科 栄司	・ 保育園・小中学校における暑さ対策について ・ 地震に対しての、公共施設の安全対策は
横澤 はま	・ 池田町社会資本総合整備計画の事業推進について ・ 地域交流センター運営の今後の方向について ・ 教育現場における災害対策について
薄井 孝彦	・ 保育園・小中学校などの暑さ対策について ・ ブロック塀の安全対策について ・ 異常豪雨災害対策について ・ 高齢者への除雪支援対策について
服部 久子	・ 給食費の負担軽減を ・ 子どもの医療費完全無料化を ・ 国保の負担軽減を ・ 会染保育園の建設を早急に
矢口 稔	・ 保育園・小中学校及び教育施設へのエアコン設置について ・ 外国人及び観光客等への優しいまちづくりにつながる環境整備について ・ 災害対応における職員派遣及び災害備蓄品の分散配置について
櫻井 康人	・ 猛暑下での学校教育の現状と今後の対応は ・ 公共施設使用料金の見直しは ・ 生活インフラ、給油所過疎をどう守るか
和澤 忠志	・ 健康寿命延伸について ・ 保小中一貫型教育について
矢口 新平	・ ふるさと納税について ・ 池田町保小中一貫教育について ・ 指定管理制度について
大出 美晴	・ 町施設の耐震と耐久性について



保育園、小中学校の暑さ対策について

倉科栄司 議員

問 今年の夏、保育園、小中学校の各教室などの温度はどの位だったか、熱中症の症状を訴える例はあったか。

答 室温は各施設によって異なるが、34度から38度だった。子どもたちで熱中症になった人はいなかった。

問 猛暑だった今年、各施設ではどんな暑さ対策をとったか。

答 保育園ではこまめな水分補給のほか園児室南側にスプリングクーラーを設置、午睡時はエアコンのある部屋に移動するなど暑さ対策をとった。小中学校では教室は扇風機の活用が主であった。また登下校の際、帽子を被るほか水筒を持参し水分補給に努めた。



町民を主軸とした交流センターの運営を

横澤はま 議員

問 議会から地域交流センターの運営は「町民の意見を十分にはかり、早期にその運営方針を示され、誰もが集う新たな教育芸術文化の賑わいの源とされたい」という提言書が提出されているが、その基本方針と運営をどのように考えているか。

答 基本方針は複合施設の特性を活かし、町民に親しまれるよう、利用者とコミュニケーションを図り、生涯学習の拠点として多様な活動と交流を促す運営を行っていく。「賑わいのある場所」とするため、町民による自主的な企画、運営もしていけるよう町民参加型の施設運営を進める。

問 運営は、町と住民の両輪で、住民を主軸とした組織作りを提案するが。



西日本豪雨のような災害への対策を問う

薄井孝彦 議員

問 西日本豪雨級の豪雨災害は池田町でも起こり得る。災害想定の見直し及び避難対策の再検討を。

答 県が行っている高瀬川想定最大規模降水量（396mm / 2日間）浸水想定区域図が来年8月末にできる。その状況をみて検討する。避難対策は広域避難（町外の安全な場所へ避難）と垂直避難（町内の浸水しない高さの建物へ避難）が考えられる。県と連携し、検討していく。

高瀬川中之郷堤防浸食部の早期完全修復工事の実施を

問 本年7月始めの豪雨により高瀬川中之郷堤防が削り取られ、決壊寸前となった。県により応急工事は実施された



学校・保育園にエアコンを

問

過日の議員協議会で小中学校の教室、保育園の遊戯室などへ、来年夏までにエアコンを設置すると報告があった。保育園の園児室には設置できないか。

答

保育園は厚生労働省の管轄で、エアコン設置補助を打ち出した文部科学省の管轄ではないが、何か対応を検討したい。

問

夏休みの延長を検討する市町村もあるが池田町の対応は。

答

学習指導要領に基づき、授業日数の確保が必要とされるので、3 校長会で十分検討したい。また、夏休みを長期化するとすれば保護者の理解も必要なので早期に検討したい。

答

新しい交流センターの運営組織図の提案は、職員と話し合いを重ね十分検討し進めていきたい。

社会資本総合計画の進捗状況は

問

地域交流センターに、災害対策本部の二次的な設置整備を。

答

予算の状況を見ながら、できる限り速やかに非常電源を整備し、二次的な災害対策本部が機能できるよう検討する。

問

公民館跡地・ミニ公園整備事業の構想はどのように考えるか。

答

緑地・ベンチ・トイレ・駐車場を設置する予定になっているが、事業変更でどの程度工事できるのか検討し、設計は年度内を予定している。

問

まちなかサイン整備事業の案内板設置に伴い、文化財マップ作成を。

答

町民や子どもの参画による文化財マップを検討していきたい。



地域交流センター躯体工事

が、大雨がくると決壊する恐れがある。早期の完全修復工事の実施を国に要望を。

答

工事は来年度後半までかかると聞いている。国へ要望していく。

ブロック塀の安全点検と撤去への補助制度の創設を

問

大阪北部地震のようなブロック塀倒壊による死亡事故が起きないように、ブロック塀の安全点検と撤去への補助制度の創設を。

答

県から文書がきたので目視による安全点検を行う。国の補助制度を活用した町の助成について検討していく。

高齢者への除雪支援制度の検討を

答

町の「支え合い助けあいを広げる協議体」の会議で協議し、地域支え合い推進員などと協力しながら除雪要望者数を調査している。引き続き検討していく。



応急工事が完了した
高瀬川中之郷堤防浸食部



給食費を無償化し、
子育て世帯の応援を

服部久子 議員

問

給食費の無償化が全国で進んでいる。1万人を切った池田は子育て世帯の支援は必要である。給食費の無償化を。若年層の減少は大きな課題である。来年度から支援策を具体化していく。

答

子どもの医療費完全無料化を

問

8月から子どもの医療費が窓口で無料になった。受給者負担の500円を無料にできないか。

答

福祉医療制度を持続するために負担を願いたい。

国保の子どもの均等割の減免を

問

国保の子どもの均等割分は、ひとり年額2万7500円で、子どもの



災害備蓄品の分散配置を
早急に

矢口 稔 議員

問

町では毎年約170万円の備蓄品購入を行っている。当町は南北に長く山間部も多い地域である。大地震の際は電柱などが道路をふさぎ、車での通行が困難になることが強く懸念されている。備蓄品の多くは町の防災倉庫に保管されているが、道路が寸断された場合、遠方の住民は利用ができない。分散配置を早急に望むが。

答

備蓄品は防災倉庫と各小中学校に配置している。町防災倉庫から遠距離にある広津・陸郷地区についても現在、分散配置計画をたてている。今年度中には配置を完了する。その他の地域は、指定避難場所となっている町施設への配備について検討したい。



猛暑環境から幼児、
子どもをまもる対策を

櫻井康人 議員

問

来春、保小中にエアコン設置と聞くと、台数、維持管理費の試算は。また、教室以外、登下校時の暑さ対策は。

答

実施設計をしていないが、速やかに設置検討を行い導入準備を進める。熱中症事故防止については、文科省より通達があり、体育授業や部活では、子どもの様子を見て休憩をとり、水筒携行で水分補給などの対応や、登下校時では帽子の着用、水筒携行を指導している。

町の公共施設使用料金の見直しは

問

料金設定は、時代の変化に伴い定期的な見直しが必要と考える。また、町内、町外使用者で異なるのか。

多い世帯は負担が大きい。国保加入者は非正規雇用の世帯など所得が低い家庭が多い。軽減できないか。

答 町の国保財政は厳しく、制度にない減免措置を独自に実施はできない。

問 国保料は、4人家族で年平均約40万円の負担になる。国保加入者の18歳までの子どもの数は177人で、全額負担すると約321万円となり、国保基金が30年度2億円ある。減免できるのではないか。

答 納付金の増加が懸念され財政的に厳しい見通しのため減免はできない。

会染保育園の早期の建設を

問 前回、会染保育園の方針は、平成34年以降に検討するとしたが、早くできないか。

答 保小中一貫教育の方針で、施設の在り方を32年までに結論を出したい。



会染保育園今後の方向は？

被災地に職員の派遣を

問 行政として、被災された現地に職員を派遣し、現場を知ることから防災に役立てることが多くあるのではないか。

答 現在、西日本の被災地と連絡を取りながら派遣できるよう準備している。

道路の愛称、若手職員の知恵を

問 外国人及び観光客の増加が予想される。大きな道路について、観光客がわかりやすい名称を付けられないか。

答 すべての路線は無理だが、イメージできる愛称を付けるのが一番である。若手職員で構成されるボトムアッププロジェクトに投げかけ、アイデアを出させたい。

この他、教育施設へのエアコン設置、町営バス車内アナウンス及びバス停の通し番号化、町内看板の外国語表記について、それぞれ質問しました。



広津・陸郷に配置された備蓄品

答 使用料は利用に伴う対価として維持管理費の一部負担と考えている。料金の設定は近隣市町村との比較、町内施設間の均等性や従前の金額を考慮している。

使用料の随時見直しは必要であり、原価計算の在り方、利用者の負担割合など算定方法を整理したい。使用料は町公共施設使用料徴収条例で規定されており、一部を除き町内外者の区別はない。

給油所の過疎化問題をどう考えるか

問 給油所（SS）が3か所以下の市町村を給油所過疎地と位置づけ、池田町も該当地域である。給油所継続のための支援を。

答 2013年の消防法改正で40年以上経過の地下タンク改修義務が負担で廃業が増加している。国、県の支援制度もあるが、町も事業継続のための支援を考える。



公共施設使用料の適正な見直しを



低栄養とオーラルフレイル の取り組みは

和澤忠志 議員

問 高齢者の6人に1人が低栄養と言われているが町の実態と課題は何か。
答 町の特定検診を受けている人の中の比率はやや高目である。検診を受けていない人は把握できていない。検診率を高めるよう啓発をしていきたい。

問 自宅で出来る簡易栄養状態評価表を周知したらどうか。

答 広報に掲載し自己評価に役立たせていただくよう啓発していきたい。

問 オーラルフレイル予防対策の実態と、今後の予防対策を強化するには、歯科衛生士を雇用すべきと考えるか。

答 介護予防の中で実施している体操教室の参加者には、年2回口腔機能の評価や口腔体操などを取り入れている。



カモミールの会・来年度末 活動休止

矢口新平 議員

問 農産物加工組合「カモミールの会」については、この9月を目途に来年度以降の方針を決定するとの回答であった。その後の動向は。

答 町としても農産物加工施設組合員のみなさんと協議を行った。組合全体で検討していただいたなかで、会員の高齢化、また、後継者育成も非常に厳しい状態であると伺った。組合としては、来年度をもって休止するとの報告を受けた。地域の食材を活かした料理や味噌、菓子、弁当など加工品の開発販売など、地産地消や食育に取り組んでいた。特に、北アルプス山麓ブランドの認定品である味噌は好評を得ている。



町施設の耐震性と 耐久性について

大出美晴 議員

問 町施設はいずれ壊すか、何らかの処分をしなければならぬ。利用頻度の高い施設は耐震工事も行い地震災害に備えている。しかし、耐震工事が施設の耐久性を向上させるものでないとしたら、施設の寿命は変わらない。寿命を延ばすためのメンテナンスや整備は行っていると思うが、果たして施設の在り方を考えた中で行っているのか。

答 指摘の通り、耐震性能は建物の寿命を延ばすものではない。今まで利用が集中する学校や保育園など教育関係の施設整備に手を入れてきた。更に2カ年で「公共施設長寿命化個別計画」を策定する。そしてどの施設を残し、廃止するかを「池田町公共施設管理総合計画」に基づき

今後も広報などで周知していきたい。歯科衛生士の雇用は現状の事業の中では必要がないと考えている。

保小中一貫型教育で何をを目指すのか

答 町が目指す子どもの将来像の具現化により、自立できる子どもを育てる。

問 町の今年度の出産予定数は30人台と予測されている。もし34人以下なら

国や県は1クラスしか認めないととなると、どちらの小学校に統合するのか。

答 国や県は統合を強制してはいないが、現時点での統合は考えていない。

問 10年後の事を考えると統合を検討する時期と考えるが。

答 少子化によりさけて通れない難しい問題である。これから教育委員会で検討していく喫緊の課題と考えている。



保小中一貫型教育で自立した子どもを育てる

一口メモ

オーラルフレイルとは。口腔機能の軽微な低下や食の偏りを含めた身体の衰えをいう。

ふるさと納税について問う

問 池田町への寄付は昨年に比べて落ち込んでいる。対策は考えているのか。

このふるさと納税は大変有意義な財源と考えている。県下の町村と比べると、返礼品だけの問題ではなく「池田町」の知名度が全国的に低いと思う。町の対策を問う。

答 落ち込みの理由に総務省通達の影響が少なからずあると思う。当町も返

礼品の3品を追加し63品目とした。昨年の同時期に比べた落ち込みは、総務省通達の駆け込み納税があったためと推測される。また、新たなポータルサイト「さとふる」と契約をした。ソフトバンクが100%出資する会社で大いに期待する所である。特にコンビニやネットバンキングの支払いを可能として利便性を向上させた。



地産地消に取り組むカモミールの会

4%削減の対象物件とするか判断する。

問 施設ごとに一定の基準を決め事業別、活動別に評価し、将来の方向を判断すべきと考える。新会計制度が導入されると町の資産がクローズアップされる可能性はある。早期の評価と価値判断をすべきでは。

答 早期の評価と価値判断は、町としてもその通りと考える。その点について、数値化できるのが「公共施設長寿命化個別計画」の結果と利用率が価値判断になるかと思う。ただ、低評価の物件について廃止と即決できない部分があり、町政懇談会などで町民の意見も参考にしたい。



町施設の多目的研修センター

松川村の

子育て支援事業や
観光事業を学ぶ

◎池田町松川村議会議員研修会開催

松川村こども未来センター「かがやき」では、乳幼児から18歳までの子どもと保護者が利用できる施設であり、教育委員会を設置し活動を見守っている。放課後の子どもの居場所として毎日100人ほどが利用している。また、安曇野ちひろ美術館に隣接した、53,500㎡のトットちゃん広場は、農業体験や郷土食づくりが体験できる交流体験館があり、画期的な観光事業に取りこんでいる。



松川村こども未来センター「かがやき」

池田町・
松川村・
生坂村

三町村議会議員
合同研修会

例年開催している池坂やまびこ会（池田町・生坂村議会議員研修会）に松川村議会も加え、初めての三町村議会議員合同の研修会を開催した。県道上生坂信濃松川停車場線整備や県道宇留賀池田線整備など、特に道路整備でも繋がる三町村である。隣接三町村の交流も含め、県町村議会議長会の宮寄康史さんから「事例を通じた議会運営の研究」を課題に学習した。



講師 宮寄康史さん

岐阜県
池田町

岐阜県池田町議会との
交流開始

◎意見交流会を行う

旧池田サミットの御縁もあった岐阜県池田町である。昨年の振興文教委員会の行政視察が更なるご縁となり、この4月に両町の災害時応援協定締結が成り、これを機会に議会間の交流が始まる。議会運営全般を課題に意見交換を行った。岐阜県池田町の人口は約24,000人。市町村合併により議員定数が削減され現在10人とのことである。とは言え、地区推薦で選出しているので議員のなり手不足はないとの事であった。



岐阜県池田町役場にて

大北地区
市町村

大北市町村議会議員
研修会

例年大北地区の議会議員の合同研修会が開催されるが、今回は当番町であり、あづみ病院のやまなみホールをお借りし、大町建設事務所長さんから「地域高規格道路の進捗状況」について、あづみ病院肩関節治療センター技師長さんから「肩こりや五十肩の予防と治療」についてお話を聞いた。また、町地域包括支援センター理学療法士さんから池田町の「のびのびゴム体操」を体験させていただき健康長寿を願った。



のびのびゴム運動で健康長寿

食育推進特別委員会活動レポート

委員長 和澤忠志

視察

福井県小浜市「食のまちづくり条例」

全国で初めての「食のまちづくり条例」を施行した。市長公約の「食」を起点とした総合的まちづくり、「食育文化都市宣言」「生涯食育」を掲げ「食のまちづくり課」を新設して成果をあげていた。

「校区内地場産業学校給食」は学校区域内の生産者が、直接学校へ野菜などを納品し単価も決める。地域との連携が広がり、児童が生ゴミを堆肥化して野菜を作り食べる事で感謝の心を育てていた。「身土不二、一物全体食、農業体験、地産地消、医食同源」などを身に付ける取り組みを実践していた。



学習

市場祥子さんによる「食育講演会」

子どもの生きる力を育むのは、食事であり学校・家庭・地域が連携し、それぞれの役割を果たさなければ食育の効果が+出ないとの講演であった。参加者からの要望として是非、条例化をしてほしいとの意見が出された。

○町から池田町食育推進計画が示される(H29年4月)

○食育推進特別委員会を設置(H29年5月臨時会)

食育条例制定を調査研究することを課題に。

視察

青森県鶴田町「朝ごはん条例」

寿命が全国でワースト10。子どもの朝ごはんの欠食や肥満児が多く、これでは町の未来も危ないとの思いから「朝ごはん条例」を制定。

塩分摂取量減少に取り組み、尿中塩分検査が実施された。家族そろって朝ごはんの声かけを徹底し、子どものいる家庭には1人20キロの米を町で毎年無料支給し、学校給食はパン食から全てご飯給食としている。

鶴田町の取り組みを参考に、当委員会では池田町にも、健診時の尿中塩分検査の導入を要望した。今年度から実施の運びとなった。

聴講

都築毅さんによる

「和食の健康有益性について」を学ぶ

健康寿命延伸を目指し、日本人の健康長寿を培った和食(日本型食生活)の重要性について学んだ。

◎更なる取り組みを…

町の食育推進計画を基本として取り組み易い条例について議論する。町の食育推進計画に健康寿命延伸の内容をプラスし、条例のたたき台を作成。この9月末の議員協議会で討議しました。さらに調査研究を進めたいと考えています。



保育園児がジャガイモほり

議会報モニターさんに聞きました

感想や要望は

- 審査結果の、承認、可決、同意、採択、請願の説明や議案番号の追記を。
- 審査、質疑、一般質問の違いが解りにくい。
- 委員会、議会活動レポートの充実を。
- 社協に委託した地域支援合い推進委員の具体的な活動内容を知りたい。
- 福祉会館設置及び管理条例は説明不足と感じた。

知らせて欲しい情報は

- ワイナリー建設やワインバレー構想
- ハーブセンターをより良くする取り組み
- クラフトパーク振興計画
- ブロック塀の安全点検

地方議会議員へのご意見

- 議員も積極的に各地区に出向いて状況を聞き取り確認して欲しい。
- 政策提言の議会となるよう期待する。
- 高齢者宅などの除雪作業を各自主防災会組織で行うよう研究を。

シリーズ 町民の 皆さんに聞く

— 第9回 —



いがらし あやの
五十嵐 彩乃 さん (千本木台)

略歴・活動内容

山梨学院大学現代ビジネス学部1年。
高校まで池田町で過ごし、現在は故郷を
離れ山梨で一人暮らし。池田小学校、高
瀬中学校、穂高商業高校卒業。小学生の
時に参加した新池田学問所『ふるさとチャ
レンジ塾』では様々な活動を通し地域の方
と触れ合う。池田町つむぐプロジェクト
では情報発信グループに所属。

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、
生の声を届けます。

池田つむぐプロジェクトとは今年から始まった「若者が池田町の今を調べ課題を見つけ解決案を実践する」3年間のプロジェクトで、今年は信州大学・長野大学・山梨学院大学から30名を超える大学生が参加しています。参加者の中で私だけが唯一の池田町民です。現在は山梨の大学で経営について学んでいます。町をより深く知りたいと思いいこのプロジェクトに参加しました。

の合宿は6月30日、7月1日に行われ、初日は、街巡りをしながら観光、歴史、環境について説明を受けました。同時に町の現状や課題の概要についても説明がありました。

経験を活かすことができそうな情報発信チームに属することにしました。2回目の合宿は、「広津集落センター絆」を拠点に8月31日～9月2日に行われ、6つのチームごと、現状把握するために町の皆さんへの取材をしました。情報発信チームは、その他5チームの活動を発信することを目的にしており、私は子育てチームに同行しました。子育て支援団体や子育て中の方への取材を通して



プロジェクトの仲間たち

で、池田町は支援が厚く子育てがしやすい環境であることが分った一方で子どもが日々の生活で楽しい場所や居場所が少ないなどの課題が浮き彫りになりました。このプロジェクトで初めて学ぶことがたくさんあり楽しく活動ができました。12月には2回の合宿をとおりて調査分析した結果の報告会を開催予定です。これからも町についての調査を続けていきます。ご協力よろしくお願いたします！

9月定例会を

傍聴して

有川 格さん
(神奈川県在住)

たまたま池田町の議会を傍聴する機会を得ました。池田小学校・高瀬中学校で、クラス会のたびに帰省。今回も池小卒業以来58年目の同級会のと、同級生が議員として活躍しているという池田町議会を傍聴しました。一部しか聴けませんが、今年「猛暑を受けての健康・安全対策」、町の根幹にかかわるであろう「地域交流センター整備事業」といった重要質疑応答に、よそ者ながら大変興味をもって拝聴することができました。他の市町村同様、人口減少の中、より魅力的で住民主体の池田町になるよう、議員及び町の皆さんの活躍を祈念しつつ議場を後にしました。

編集後記

今年の夏は、猛暑が続き、その後、台風や豪雨が相次ぎ、全国で大きな被害が出ました。池田町も高瀬川の堤防が中之郷で大きくえぐられ災害につながる危険がありました。地球温暖化がもたらす気候の変動とすることで、人間は、自然に生かされていることを忘れてはならないとつくづく考えさせられます。

さて、議会だよりの一般質問のページですが、字が混んで読みづらかったので変えてみました。いかがでしょうか。みなさまの評判が気になるところです。ご意見お待ちしています。

服部久子

議会報編集特別委員会

委員長 服部 久子
副委員長 横澤 はま
委員 矢口 新平
和澤 忠志
那須 博天